

参加のお誘い

第5回斜面防災世界フォーラム（WLF5）2020，京都 仙台地すべりパートナーシップ 2015-2025 の推進と評価 -仙台防災枠組み 2015-2030 と持続可能な開発目標(SDGs)への自発的貢献-

WLF5（京都）の開催 – 2021年11月2日～6日，国立京都国際会館

第5回斜面防災世界フォーラム(The Fifth World Landslide Forum: WLF5)が，2021年11月2～6日に京都市で開催されます（COVID-19の世界的流行により2020年11月から1年延期になりました）。

地すべり・崩壊・落石など斜面での土砂移動による災害は，豪雨・融雪・地震や人為的地形改変などで地球上至る所で起こる災害です。WLFは，世界各国での斜面災害軽減に関する取り組みについての情報交換やネットワーク形成，研究促進を目指して，The International Consortium on Landslides（国際斜面災害研究機構）が，支援機関である国連教育科学文化機関（UNESCO），国連防災機関（UNDRR）などと共に2008年から3年毎に各国で開催している国際会議です（参照：WLFの取組み）。第4回WLF（スロベニア）には49か国約608人の参加がありました。参加者の専門分野も，理学・工学・農学などさまざま境界領域の多面的な議論が行われます。

WLFの取組み – 新たな「京都地すべりコミットメント2020」の構築

The International Consortium on Landslides（ICL）では，2015年国連防災世界会議（仙台）で，2025年までの斜面災害を減らす技術者・研究者・行政官や市民による取り組み実施を宣言しました。2020年はその中間年として，取り組みの成果や課題をレビューし，11月にはICL-IPLのオンライン会議によって，2025年以降も続く地すべり危険度軽減のための世界的な枠組み「京都地すべりコミットメント2020」（KLC2020）を発足する予定です。WLF5は，日本での斜面防災対策やその技術を各国に知って頂く格好の機会であるとともに，各国でのさまざまな斜面災害軽減技術や多国間の共同研究の現状，発展途上国の災害状況やニーズなどを知る貴重な機会にもなります。

WLF5への参加の方法とテーマ

WLF5では，1)下記に示す9つのテーマごとの論文発表セッション（英語，査読あり），2)フォーラム主催機関や参加グループ・団体が提案する電子プロシーディングスセッション（英語・日本語どちらでの発表も可，セッションごとに査読有・無の両方あり），3)スポンサーとして，機器展示・広告などの企画があります。これに加えて，4)1ページアブストラクトと5)電子ポスターによる発表も開催することになりました。一方で，もちろん，発表無しでの参加もOKです。

フォーラムでの出版物としては，a)国際ジャーナル“Landslides”のWLF5特別号，b)フルカラーブック（電子書籍，印刷書籍），c)電子プロシーディング，があります。a)では，論文約30編を2020年10月号として発刊予定です。b)では，原則として下に掲げる9つのセッションテーマごとにフルカラー本を出版予定です。c)は，電子プロシーディングとして1発表あたり6-10頁（要旨1頁とPPT2枚/頁にした発表概要（英語）を収録したものを出版します。全発表者が口頭発表となります。一方，上記の4)1ページアブストラクトは，図表を含まない1ページの発表要旨を投稿頂き，当日に8～10分間の口頭発表を行うものです。5)電子ポスターは，A0サイズのポスター電子ファイルを投稿頂き，ポスター委員会がチェックしたものをWeb上に掲載するもので，3分間の口頭発表（英語）あるいは発表無しを選択できます。

WLF5 組織委員会提案のテーマ

テーマ1：仙台地すべりパートナーシップ2015-2025と京都2020コミットメント

テーマ2-1：ハザードおよび脆弱性マッピングとゾーネーション

テーマ2-2：地すべりインベントリマッピングと脆弱性評価

テーマ3：計測と早期警戒

テーマ4：試験，モデリングとリスク評価

テーマ5：リスク管理のための教育と人材育成

テーマ6：大災害を引き起こす地すべり：その原因と結果

テーマ7：最先端の地すべり科学と革新的な実践

テーマ8：地すべり科学とその応用に関する個別課題：すべての電子プロシーディングセッション(S8.E1-S8.E9)はこのテーマに入ります。

会議での口頭発表は，出版形式によらず，各テーマ/セッションのコーディネーターが，発表時間（10-20分/編）の割当，プログラム編成を行います。

準備日程と参加費

分 類	年	2020			2021								
	月	6 - 7	8-9	10-12	1 - 3	4-5	6 - 7	8-10	W	L	F	5	
ジャーナル特別号	出 版			出 版						出 版 / 招 待 講 演			
フルカラー本	出 版			出 版						招待/一般口頭発表			
電子プロシーディング	出 版			出 版						一 般 口 頭 発 表			
1 ページ アブストラクト	論文提出とレビュー 出 版	要 旨 原 稿 の 提 出 ※							8～10 分間の 口 頭 発 表				
電子ポスター	論文提出とレビュー 出 版	ポ ス タ ー 原 稿 提 出 と レ ビ ュ ー							希望により 3 分間 の 発 表 可				
登 録	一般口頭発表者	出版費	早 期 登 録			通 常 登 録							
	1 頁要旨/e ポスター	早 期 登 録			通 常 登 録								
	聴 講 者	早 期 登 録			通 常 登 録		遅 延 ・ 当 日 登 録						

論文の提出方法と期限：<http://wlf5.iplhq.org/call-for-papers/> ※ 1 ページ要旨の提出は 2021/6/30 締切 → 7/31 に受理通知。

登 録 期 間	出 版 費	登 録 費			
		早 期 登 録	通 常 登 録	遅 延 ・ 当 日 登 録	
一 般 口 頭 発 表	28,000 円 (学生 26,000 円)	38,000 円 (学生 0 円)	43,000 円 (学生 0 円)	48,000 円 (学生 0 円)	
1 頁要旨/電子ポスター	—	36,000 円 (学生 26,000 円)			—
聴 講 者	—	26,000 円			

発表の連名者は非発表者扱いとします。また、登録者は WLF5 フルカラー本 Vol.1 (テーマ 1) 及び電子プロシーディングと 1 ページ要旨、電子ポスターをダウンロードできます。レセプション・ランチ・フルカラー本は含まれません (オプションで販売します)。

詳細は WLF5 の HP をご覧ください。 (<http://wlf5.iplhq.org/registration/>)

スポンサーの募集

第 5 回斜面防災世界フォーラム組織委員会では、WLF5 の実施及びその際採択される京都コミットメントとさらなる斜面防災分野の発展促進 (発展途上国参加者の支援など) のためスポンサーシップをお願いしています。スポンサーをご検討の方は、特典などについて WLF5 のホームページをご覧ください。

<http://wlf5.iplhq.org/host-and-sponsors/>

<http://wlf5-jp.iplhq.org/wp-content/uploads/2019/09/2.-WLF5登録とスポンサー-1.pdf>

お願い 参加希望者は、下記のアドレスから事前登録を行ってください。WLF5 事務局からの案内メールはここで登録されたアドレスに送られます。発表希望者、スポンサーをご検討の方に加え、非発表の参加者も、事前登録をお願い致します。

<http://wlf5.iplhq.org/preliminary-registration/>

その他 :世界津波の日 (11 月 5 日) の特別行事 : 日本の外務省が 2015 年に作成した国連総会の書類には、津波の原因として海底火山の噴火、沿岸や海底での地すべり、地震による地殻変動の 3 つがあげられています。そこで、第 70 回国連総会本会議で採択された 11 月 5 日には、特別セッションとして地すべり津波と WLF5 に参加する世界的権威による地すべり早期警戒に関する講演・パネル討論などを開催予定です。

WLF5 にかかる連絡先 第 5 回斜面防災世界フォーラム事務局 Email: wlf5-sec@iclhq.org 電話 : 075-723-0640

主催 : 第 5 回斜面防災世界フォーラム組織委員会

共催 : (特非) 国際斜面災害研究機構、国際斜面災害研究計画・地球規模推進委員会、京都大学、(公社)日本地すべり学会、(公社)地盤工学会、日本自然災害学会、(一社)斜面防災対策技術協会

組織委員会 : 委員長 : 佐々恭二、副委員長 : 寶馨、檜垣大助、東畑郁生、幹事長 : 渦岡良介、小長井一男、カン・ダン

背景写真(上-下) : 磐梯山の大崩壊(石川晴和撮影)、パキスタン地震での地すべり(檜垣大助撮影)、

Bergün, Switzerland(早川裕弐撮影)

2020年 6月12日 版